

令和 7 年度

第 32 回群馬県老人保健施設大会

令和 7 年 11 月 15 日（土）に安中市文化センターにて、第 32 回群馬県老人保健施設大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり令和元年以来 6 年ぶりの会場での対面開催となりました。

当施設からも 10 名のスタッフが参加し、介護福祉士の角田龍馬が演題発表を行いました。また施設職員表彰（県老健協会規定）として、多年にわたり老人保健施設の充実・発展に寄与した 5 名の職員が表彰されました。

これからも安全安心なサービスの提供と健全な施設運営ができるよう職員一丸となって精進して参ります。

演題発表

「自分で食事がたべられるように」 角田龍馬 介護福祉士

発表者コメント

老健大会にて食事に関する発表を行わせていただき、大変貴重な経験となりました。

日頃から利用者様の食事支援に携わる中で感じていた課題や工夫を整理し、あらためて言語化することで自分自身の業務理解がより深まったと感じております。

今回得た気づきを、今後の業務に活かし、より安全で楽しい食事の提供に繋げていけたらと思います。これからも日々の実践を積み重ねながら、質の向上に努めてまいります。

受賞者

リハビリ職 2名 介護職 3名

受賞者代表コメント 大谷里恵 介護福祉士

永年勤続表彰をいただき、ありがとうございます。

皆様方の支えがあり、迎えることができたと感じています。

今後も多くの事を学び、様々な経験をさせていただきます。

これからも感謝の気持ちを忘れず、頑張りたいと思います。

【大会の様子】

